

西東京の教育

市ホームページアドレス
http://www.city.nishitokyo.lg.jp/

平成20年(2008年)2月15日発行 第31号

=発行=
西東京市教育委員会
〒202-8555
西東京市中町1-5-1
電話 042-464-1311
=編集=
西東京市教育委員会
教育部教育企画課



西東京市教育委員会研究奨励事業 研究指定校報告会 を行いました



2年次校報告

平成19年度西東京市教育委員会研究奨励事業研究指定校報告会が平成20年1月24日(木)に開催されました。
この報告会は、これからの西東京市の学校教育について研究を進めている研究指定校が、取組みの状況について報告を行ったものです。
平成18年度から2年間をかけて研究に取り組んだ6校は、研究の内容や成果、課題について資料や映像を活用して発表しました。
会場は、約600名の出席者の熱気で溢れました。

1年次校報告

平成19年度から2年間、研究に取り組む3校は、中間発表を行いました。
栄小は、児童一人一人に健康の大切さを理解させ、生活習慣や自分の体を見つめさせることで、生活改善や体力づくりを図ろうとしています。キーワードは、睡眠、食育、体力づくりです。

谷戸小 教科担当制、学年内交換授業

小学校での一部教科担任制及び学年内交換授業について、具体的な取組み方や成果、課題を報告しました。
担任が全教科を担当する小学校で、1・2年生は、国語科の単元で、3年生は理科・社会科で学年の中で授業を交換しました。目的は、担任の教師が他学級の児童とのかかわりを深めて、学年全体で児童の育成を行うというものです。また、教科担任制は、専科や少人数学習集団による指導を考慮し、国語科、社会科、家庭科で実施しました。目的は、どの学級にも同質の授業を保障するというもので、実施後の児童の評価では、「授業が分かりやすい」としたものが約6割ありました。

田無四中 二学期制の研究及び試行

平成15年度から学校独特で二学期制を試行し、それを踏まえた研究指定校2年間の成果を報告しました。2年目の本年度は、学校生活のリズムを活かした前後期の切り替え、夏季休業前後の取組み、二学期制に対する理解啓発を課題として研究を進めました。
研究の成果を検証するために、「学校アンケート」を実施し、2年前と今年度を比較しました。その結果、大多数の項目で評価が上がり、火曜日の放課後の質問・相談時間の設定や夏季休業中の学習会など、二学期制を軸にした取組みが評価されたとの報告がありました。また、夏季休業中の学習会が活性化できたことは、休業明けに定期考査があることに起因するとの分析もありました。

けやき小 授業改善と外部評価、地域連携、施設・設備の有効活用

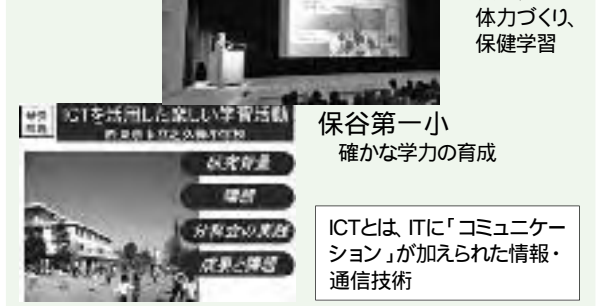
授業の改善を研究の中心に置き、保護者による授業の評価、保護者や地域の方の授業参加、オープンスペースの効果的な活用方法の取組みについて、報告をしました。
2年間で34回という全体での授業研究等を行い、日常的に各々の教員が授業を見合うという教員の学び合う姿勢がとても印象的でした。また、保護者が授業参観や授業研究を評価し、その結果を授業に活かしていくサイクルも今後、各学校が参考になる内容でした。さらに、外部評価委員会は、学校関係者評価につながるもので、市の方向性を示していました。

柳沢小 二学期制の研究及び試行

小学校での二学期制について、今年度の試行結果を踏まえた報告が行われました。その中で、二学期制の長所の一つが学習面にあることが分かりました。
例えば、長期休業前の7月、12月に、教師は評価作業の時間を児童の学習指導に充てることができました。また、前期を「基礎・基本」、後期を「充実・発展」と位置付け、年間指導計画の見直しを図ることで、学力が高まりました。さらに、意欲面では、年間6回、学習・生活・家庭について自己評価する「ふり返りカード」を書き、三者面談などにも活用したことで、児童・保護者・担任が共通のめあてをもつことができました。

保谷第一小学校は、学習の基本である「読み、書き、計算」の力を付けるために、指導方法を工夫しています。また、基本的な生活習慣や家庭学習の習慣が学力の土台であることから、家庭との連携方法も研究しています。

芝久保小学校は、ICTを活用した楽しい学習活動について研究しています。研究の内容は、情報機器の授業での効果的な活用法、コミュニケーションを図るための活用法、児童・教員の活用能力の高め方です。



芝久保小 ICTを活用した楽しい学習活動

本町小・保谷中 小中連携による教育活動の推進

隣接している小・中学校ですが、連携の必要性は理解していても、いざ取組みを開始すると、多くの課題があったという報告を行いました。
1年目は、小・中学校の教員のコミュニケーションを図ること、授業をお互いに参観し、子供の様子や指導法の違いを確認することから始め、その大切さについて説明しました。
そして、2年目は、教科教育の連携を研究しました。国語、算数・数学、保健体育、特別活動の四つの分科会それぞれが、研究の成果と課題を発表しました。

保健体育分科会



1年・中学選択体育合同 組体操練習